



今年も駅前での暑き戦い JR蒲田駅前で募集キャンペーン

東京地本大田出張所（所長 木原均2等陸尉）は、7月26日（土）、27日（日）、JR蒲田駅西口広場において募集広報を実施した。

このイベントは、各種採用試験に向けた対象者情報の獲得及び自衛隊の一般広報を目的に平成20年度から毎年この時期に実施しているものであり、大田出張所の協力3団体（募連協大田支部、大田区父兄会、大田出張所協力会 総括会長井口訓宏氏）の協力を得て実施する大田出張所最大の募集イベントである。

今年は、大田区の防災課ブースと併設、協力し広報を実施した。当日は、第1普通科連隊の支援により実現した大田区で初となる軽装甲機動車と人命救助システムの展示、さらに東京地本のキャラクター「トウチ君」の活躍もあり、大勢の来場者で賑わった。

軽装甲機動車の前では、多くの人が足を止め写真撮影し、第1普通科連隊の隊員による災害派遣時に使用した油圧カッター等の人命救助用装備品の説明を受け、来場者は感心している様子で、「この機材は、どんな時に使用するんですか。」等、装備品に対する質問が多く寄せられた。

併設した防災課ブースでは、区の防災資料及び非常食の配布にあわせて自衛隊広報資料も配布していただいた。

「トウチ君」は昨年に引き続き大田出張所協力会の小関会長が自ら担当、たくさんの方から激励の言葉をいただき、汗だくになりながらも満足の笑みを浮かべた。

また、予備2等空曹かつ募集相談員である犬伏父兄会・協代会副会長は拡声器で通行人に呼びかけを行い、募集イベントを一層盛り上げた。来場者からは、「自衛隊の方も、大田区職員の方も暑い中ご苦労様です。何かあったらよろしくお願いします。」などの激励をいただいた。

大田出張所は、大田区唯一の防衛省組織として大田区との連携を強化し、若年層から年配者まで、自衛隊に対する正しい理解を深化させられるよう、積極的に広報を行なっていく所存である。



晴海埠頭に陸・海・空装備品勢揃い 護衛艦「やまゆき」体験航海・艦艇広報を実施

東京地本は、晴海埠頭において護衛艦「やまゆき」による体験航海・艦艇広報を東京地本・埼玉地本合同で実施した。体験航海は、7月25日に横須賀から晴海埠頭への回航を活用して実施された。

当日は天候にも恵まれ、約260名の募集対象者等は、普段味わうことの出来ない護衛艦によるクルージングを満喫した。

また、26日、27日においては艦艇広報を実施し、両日合わせて約1,400名が晴海埠頭に来場した。来場者は、普段乗艦することのできない護衛艦に乗艦し、艦内を見学したほか、一日艦長として、26日、女優・元宝塚歌劇団 月影瞳さん、27日にはタレント・声優 杜野まこさんがそれぞれ任命され、イベントに華を添えた。

護衛艦「やまゆき」が接岸する岸壁地帯では、第32普通科連隊、第1偵察隊、第2高射特科群、航空自衛隊第1高射群の支援を受け、軽装甲機動車、指揮通信車、ペトリオットランチャー等の様々な装備品が展示され、来場者はしきりにシャッターを切っていた。さらに、第32普通科連隊及び護衛艦「やまゆき」の隊員によるラッパ吹奏のコラボに、場内は大変な盛り上がりを見せた。

その他に、高機動車の試乗、組みひも体験、制服試着、南極の氷の展示や、トウチ君によるPR等様々なアトラクションを実施した。

来場者は、装備品等を体感し、自衛隊に対する理解を深めた。来場者から「貴重なクルージングを体験できてよかった。」「はじめて護衛艦の中に入ることができ、海上自衛官の真摯な勤務姿を目の前で見ることができ、大変有意義な時間だった。」「こんな多くの自衛隊車両を一度に見ることができてよかった。」等の多数の意見をいただいた。

東京地本は、今後も艦艇広報の場を活用して、広く国民に自衛隊の魅力を伝えていく所存である。

